

会 議 事 録

		記 録 者	企画課長 木村 博貴		
供 覧	部長	課長	補佐	係長	G員
件 名	令和2年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	令和2年6月24日（水） 午後1時30分から午後2時46分				
場 所	市役所5階全員協議会室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	<p>中山市長，平塚教育長，斎藤教育長職務代理者，高橋委員，岡澤委員，野中委員</p> <p>川村副市長，龍崎市長公室長，松尾教育部長，木村企画課長，中村教育総務課長，松本文化・生涯学習課長，本橋指導課長，松谷教育センター所長，神永学校給食センター所長，岩井教育総務課長補佐，関ヶ原教育総務課長補佐，吉永教育総務課主幹</p>				
欠席者	なし				
傍 聴	なし				
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 議 題</p> <p>（1）龍ヶ崎市が目指す教育について</p> <p>（2）施設一体型小中一貫校・学校統合に関する調査報告書について</p> <p>（3）小中学校施設長寿命化計画（案）について</p> <p>（4）その他</p> <p>4 閉 会</p>				
情報公開	公 開	非公開（一部公開を含む） とする理由		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号該当）	
	部分公開				
	非 公 開	公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）		年 月 日	

<p>事務局</p>	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまより令和2年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>今のところ、傍聴の方はいらっしゃいませんが、本会議は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により、原則公開ということになっております。仮に途中で傍聴の申し出がございましたら許可をすることになりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは開会にあたりまして、中山市長が御挨拶を申し上げます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>皆さんこんにちは。マスクをしたままで失礼いたします。</p> <p>久しぶりの龍ヶ崎市総合教育会議でございますが、教育委員会の前の貴重な時間に開催していただき、また、出席いただいたことに心から感謝申し上げますところでは。</p> <p>昨年10月から教育委員として野中浩委員をお迎えしました。本日は、野中浩委員をお迎えして最初の総合教育会議となります。これからも、このような形で教育委員会と市長部局が連携を取りながら、子ども達の教育を考えて参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。野中委員におかれましては、PTA活動等、様々な活動もされており、熱意を持って、これまでも教育委員会に色々御協力いただいていたところだと思っておりますが、一層のお力をいただきますことをよろしくお願ひいたします。</p> <p>年度末、年度初めを含めて、新型コロナウイルスによって大きな影響を受けた4カ月となってしまいました。総合教育会議も当初4月下旬の開催を予定していましたが、緊急事態宣言が発令される等により開催できず、2カ月遅れての開催になりました。開催に当たっても、いつもと違う部屋で換気をしながら、密を避けながら開催しておりますので、ご理解お願ひ申し上げます。</p> <p>臨時休業という子ども達が長い期間学校に行けない、今まで経験したことのない、教育委員会の皆さんにおかれましても同様かと思っておりますが、子ども達にも本当に考えられないような事態を迎えてしまいました。3週間の部分登校を経て、6月8日から通常登校が再開されたところでは。休んでいた期間の子ども達への影響も、まだ見えてないところもあるかもしれません。新しい学校生活においても、新しい生活様式という言葉がありますが、様々な制約のある中で学校生活になっていきますので、それらも子ども達には様々な影響を与えているのではないかと思います。新型コロナウイルスの問題が収束するまでは、付き合っていかなければならないということも、子ども達にも認識をしていただかなければなりません。また、その上で子ども達の健やかな学びを保障していくという難しい課題もクリアをしていかなければなりません。</p> <p>市といたしましても、関係部局が連携を図りながら、学校における感染症対策、教育活動に対する支援を今後も継続していきたいと考えています。学校では会議室の消毒や換気等の感染防止対策もしっかり取りながら運営しているということです。私も、学校が再開してから全部の小中学校を回らせていただきました。それぞれの学校が教育委員会から指導された対策だけではなく、学校に合わせた対策をしていると実感できました。</p> <p>また、私が心配していた子ども達も思った以上に元気で、大分前から学校が始まっていたのではないかとおぼせるような雰囲気を感じました。ただ、机の間隔を広げる等、色々な面で制約を受けながらも授業中はすごく真面目に、落ち着いて勉強していると思ったのも、そういうことを意識しながらやっているからなのかという感じも受けたところでは。特に1年生は、思った以上に学校に慣れているような授業態度でしたので、その点はほっとしたところでは。子どもの事態に対処していく、即応力の高さを感じたところではありますが、それ</p>

	<p>にしても先ほど申し上げましたように、様々な影響を受けてのスタートとなりましたので、これからもどんな影響が出るか、しっかりと見守っていかねばならないと思っています。</p> <p>さて、本日の会議の議題でありますけれども、龍ヶ崎市が目指す教育とそれに基づく将来の学校施設のあり方などについて御協議をいただく予定となっています。現状を鑑みますと、当面の間は感染症対策、子ども達の学びを保障するための教育活動を最優先に取り組んでいかねばならないと考えています。そのような現状ではあります、時代の変化もしっかりと見据えつつ、将来の学校のあり方について方向性を示していくことも大変重要な取り組みであり、私としても優先順位の高い問題、大変重い責務であると認識しています。そのような認識から本日の議題を設定させていただいたところです。教育委員の皆様方におかれましては、この取り組みに関して忌憚のない御意見、御提案をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、この総合教育会議の議論を通じて、龍ヶ崎市の教育がさらに充実したものになることを大いに期待しながら、私からの挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
中山市長	<p>それでは議事の方に入りたいと思います。議事の進行につきましては、本会議の主催者でございます中山市長にお願いします。よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、議事進行の役目を務めさせていただきますので、慎重審議の上、円滑な議事進行に御協力いただきますようお願い申し上げます。本日の会議時間については、午後2時45分の終了を目指しておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、会議次第に基づき議事を進めて参りますが、本日の議題1から3までは関連性がありますので、一括して協議をして参りたいと思います。</p> <p>初めに事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明)</p>
中山市長	<p>ただいま事務局から説明がございました。ここで、皆様から御意見、御提案等あれば御発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。平塚教育長。</p>
平塚教育長	<p>最初に説明があった教育プランは、私が教育長になる前の平成27年4月に総合教育会議で策定の方針を決めて、平成29年2月に決定したと思います。今回の新型コロナウイルスの問題と、教育プランを照らし合わせると順序性や足りないという部分も結構出てきてしまいました。わずか5年の間に考え方が変わってきています。例えば、ICTに関する記載は義務教育の充実の6番でようやく出てきますが、オンライン学習も含めて、かなりニーズが高くなってきています。教育委員会としても、新たな教育プランの策定はせざるを得ない状況であるということ、資料を見ながら感じたところです。今、国の政策として、GIGAスクール構想がありますが、そこに新型コロナウイルスの影響が大きく出ることから、GIGAスクール構想がさらに加速されているところです。市としても新型コロナウイルス対策の交付金等もGIGAスクールの方に活用して、整備を促進しているところです。</p>
中山市長	<p>一点、補足させていただきますが、長寿命化計画の資料を予備知識なしで市</p>

<p>野中委員</p>	<p>民が見ると、完全に矛盾した内容が書かれています。長寿命化計画は、国が定めなさい、今ある学校について全部やりなさいというお達しがあり、今後、施設一体型小中一貫校を目指しているけれども、それを無視した、全部網羅した内容になっていますので、ちょっと誤解を与えてしまうかもしれません。委員の皆様はご承知だと思いますので、もしそういうような誤解があった場合には委員の皆様の方からもそういうことではないということを、ぜひ伝えていただければと思います。現実としてこういう現状がある、大変なことだとわかっていただけるのではないかと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。野中委員。</p> <p>施設一体型小中一貫校整備の検討の中で、中学校では学年が2クラスになってしまうと専門的な先生の配置が難しくなるという話を聞いたことがあります。北部地区が2030年度で中学校6クラス、西部地区も2045年度で6クラスにはなるということですが、施設一体型小中一貫校にすることによって、専門的な先生は小学校も中学校も両方を教えることができるので網羅できるという考え方ですか。また、小中一貫校の小学校と中学校の先生は、どういう動き方をするものですか。あと、校長先生は2人いるものですか。小学校と中学校があるものなのか、もしくは小中一貫校として一つの学校になってしまうのか。その考え方をわからないので教えてください。</p>
<p>中山市長</p>	<p>教育長お願いします。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>中学校の6クラスと9クラスでは、国語、数学、理科等の主要教科の先生の数がかなり変わってしまいます。それから、5クラスになると家庭科の先生がいなくなってしまう。そうすると非常勤の先生を雇うことになります。しかし、施設一体型小中一貫校だと、例えば中学校の理科の先生が1人しかいない、足りないといった場合に、小学校で勤務している理科の免許を持っている先生が中学校で指導することができます。その時に手続きとしては、小学校を担いながら中学校と一緒に勤務できますという兼務発令の措置をします。そうすると両方できる。これは施設分離型でもできないわけではありませんが、行ったり来たりすると往復に1時間、2時間かかってしまいます。施設一体型であればすぐできるので、教職員の数が減っている、専門の先生が少ないと言いつつも小中学校の中でカバーすることができるというメリットがあります。</p> <p>それから、同じ敷地であるならば校長先生の数は1人になると思います。そうすると、その学校は義務教育学校という形になってくるのかもしれない。今、私達は施設分離型小中一貫校という方向ですので、校長先生が1人ずつ就いていますが、将来的に一体型になった時に、どういう形式が一番望ましいのか、先行事例も鑑みて検討していきたいと思っています。</p>
<p>中山市長</p>	<p>他にございますか。斎藤委員いかがですか。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>今回、小中一貫校の整備の検討で、このような資料を出していただいて、大変驚いている、素晴らしいと思っています。こういうことが実現していくと子ども達にとって、保護者、市民にとっても嬉しいこと、先ほどの調査報告のアンケートもありますけれども、そう思いました。しかし、1校作り始めたら、市民や保護者はこちらも早くという考え方になるのではないかと考えています。ただ、先生方にとっても、先ほど言った人的配置の問題では、そういう行</p>

	<p>き来をしなくて済みますので、非常に先生方にとってもやりやすいと思います。また、小学校と中学校を経験することで資質向上にも繋がっていくので、こういう形は大変望ましいし、早く実現したらいいと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。高橋委員。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>施設一体型という方向に進んだ時に、一番問題になるのは、資料の最初の方にスクールバス等のことも出ていますが、通学の問題だと思います。そして小中一貫校の場所が決まった後に、色々な課題がたくさん出てくるので、それを一つ一つクリアしていくのは非常に大変だなというのが正直な感想です。あと、廃校のことが出ていますが、使わなくなった学校の使い方が、その町の中でどういう役割を果たすか、子ども達にとってそこがどうなるのか等、市のランドデザインの中の一つという考え方をしていかなければならないのかなと思っています。単に学校を教育の面で施設を一体にするというだけではなく、周囲の環境やまちづくりに関係してくるということを感じました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。確かに学校のある所は良い場所です。市の方も、何かランドデザインや考え方はありますか。</p>
<p>川村副市長</p>	<p>例えば、長山中学校区の一貫校の計画がありますが、もしそこを小中一貫校という計画を進めていくとすれば、当然に松葉小学校と長山小学校の跡地の問題が出ます。ニュータウンの松葉、長山地区は分譲してから40年近く経ちますので、だいぶ高齢化が進んでいます。しかし、すごく素晴らしい町なので、若者が住んでくれるような町に、できればまちづくりとして進めていくような考えもあります。そういった意味で、松葉小学校と長山小学校が、例えば地元の交流の拠点や防災の対応の拠点等に配慮しながら、若者が定住するようなまちづくりを進めていきたいという考えを持っていますので、これは並行して進めていきたいと思っています。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>市街化調整区域と市街化区域の違いもあります。今までは市街化調整区域の学校、長戸小学校や北文間小学校は、利用したいと思う方からすると利用しづらくなっていますので、なかなか利活用が難しいところがあります。市街化区域にある学校もありますので、そういうところは、例えば住宅にさせていただく、人口を増やしながら学校の児童生徒も増えるということもあり得ると思います。まちづくりにとっては本当に良い場所で、いかにそれを活用していくかは、その場所によって色々なパターンが出てくると思います。今日の資料も長期的な考え方で作られていますが、長期的な考え方の中で、最適なものを考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>岡澤委員。</p>
<p>岡澤委員</p>	<p>小中一貫校にして学区が広がると子ども達の行動範囲も広がります。通学路も変わるので、通学路は安全かということが一番気になっているところですので、そこをいかにうまく進めていただけるかが気になりました。</p>
<p>松尾部長</p>	<p>本日の資料で施設一体型小中一貫校整備の検討概要とあって、南部地域、それから北部地域の1とありますが、両方とも目標整備年度が2030年度になっています。お分かりかと思いますが、施設一体型の学校を整備しようとす</p>

	<p>ると、一つ作るのに非常に大きな財源が必要となります。それで2つ同時にできるのか、多分できません。それで、目標整備年度は2030年度と両方書いていますが、これは前の国勢調査の人口推計に基づいて、今後の児童生徒数を推計していくと、ちょうどこのタイミングで、色々と不都合が生じてくるのかという見立てです。実際に、国勢調査の人口推計と現在の人口動態を比較すると、実は現在の人口動態の方はドライブがかかっています。人口減少のスピードが速くなっていて、児童生徒数が推計よりも早く少なくなっています。特に、松葉、長山地区については、予想よりも早く、現在の小学校にいる児童が今後、上に持ち上がって中学生になる、いわゆる学年進行で考えると、2025年程度には、長山中学校は6クラスになるのではないかと、見立てよりも5年ぐらい早くそういう時期が来るのではないかと考えています。ですので、そういうことも念頭に、これから計画的に事業を推進しなければならないと思っています。</p> <p>今年度、特に危機感の強い松葉、長山地区の皆さんともう少し細かい推計結果等をお示ししながら、コンセンサスを取っていきたいと思っていました。新型コロナウイルスの関係で、計画がちょっと遅れてしまって、具体的に意見交換等の場の設定には至っていませんが、そういう計画を進めていこうと思っていました。やはり地域の方々にご理解いただくには、こういう現状お知らせして、理解していただいた上で、子ども達により良い教育環境を作っていくための取り組みということをおわかってもらわなければならないと思っていました。</p> <p>そういう意味では、冒頭教育長からあったように、小中一貫校が義務教育学校なのか、施設一体型の学校なのかの議論はあるにしても、施設を一体にすることによって、小学校と中学校の先生を相互運用できますので、教育の質の向上には繋がるだろうという説明をしたいと思っていました。</p> <p>一方で、これは教育委員会というより市全体の話になってしまっていますが、学校が統合によって無くなって、その跡地どうするのかという議論はもちろん避けられないと思っています。ですから、そういう意味では、まちづくりの視点でお話をしなければならないので、教育委員会だけではなく、企画や都市計画という市全体のまちづくりの観点からもお話をし、地域の方々に学校教育の問題だけではなく、まちづくり、地域の未来という観点で考えていただいて、理解を得ていけるようにしていきたいと思っています。スタートが遅れてしまっはいますけれども、今後、そういう考え方で取り組んでいければと思っています。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今、まちづくりの視点も含めて話がありました。今の説明も含めて何か皆さんからありますか。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>南部地域と北部地域1の二つの小中一貫校が早そうですが、出来上がりを見ると全く違う小中一貫校になると思います。龍ヶ崎小学校に作る一貫校と長山中学校に作る一貫校は、学校の規模も違います。多少前後して、長山中学校の方がちょっと早いかなと感じていますが、商店街のある旧市内の小中一貫校とニュータウンの方にある小中一貫校はまちづくりの歴史や流れが違います。ですから、龍ヶ崎市で小中一貫校が二つできるというアナウンスはちょっと誤解を招くと思います。特色のある小中一貫校が龍ヶ崎にこれから二つできるぐらいの考えでいていただいた方が、誤解を招くことはないと思います。</p> <p>どちらがいいという比較も始まってしまいかもしれませんが、教育の内容について、旧市内で行う教育とニュータウン地区の教育は基本的には同じですが、特徴的なものは違う部分もあると思っています。体験活動をするには、旧</p>

<p>中山市長</p>	<p>市内の方が恵まれているところがあります。ニュータウンで体験をすることも移動を伴うこともあります。ただ、人材はどっちが多いかという、わからない部分もありますので、整備計画と合わせて教育内容の検討についても、ある程度時間をかけて研究していく必要があると感じているところです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今、大きな問題を提起していただいたところです。平塚教育長の話についても、何かあれば皆さんからお願いしたいと思います。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>今、教育長からあったように、長山地区は地理的なものも含めて一体型にしやすい、条件は非常に整いやすいと思います。コンパクトな形で学校ができる気がします。ただ、それが果たしてこれからの教育上、良いことなのかどうかは別問題だと思います。市内で、愛宕中学校と城南中学校を統合した後、龍ヶ崎小学校で作るものは、質は一体になっても違う気がします。</p> <p>また、市民と保護者の考え方も違いがあると思います。こちらで言うのと長山で言うのでは賛同の仕方は違う気がする、そこは慎重にやっていかなければならないと思います。特に先ほどの長山地区は人口減少のスピードが結構早いということを考えると、先ほど部長からあったように早めに色々なデータを示しながら、下準備をして、色々な意見を聞いていく必要があると思いました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>南部地域はご覧の通り面積自体が大変広く、北部地域の1の面積はその何分の1の面積ですので、そういうコンパクトさも含めて、長山、いわゆる北竜台地域はスピード感を持って対応していくことが、望まれるのではないかと考えています。</p> <p>南部地域については、第1弾として中学校の統合が迫っておりますので、これは緊急性が高いということで進めていただいたところです。しかし、こちらが先に進んでいるように見えますが、しっかりと優先順位や市の体力も見極めた中で、どのような順番でやっていくかは、総合教育会議で、皆さんからも色々ご意見をいただきながら、進めていかなければならないと感じています。</p> <p>最初に説明させていただいた教育プランにしても、スタートの時は適正規模適正配置という言葉が使われており、それが目標のような印象をどうしても受けてしまいました。そういう方も多かったのではないかと思います。その中で目標は、少子化の時代に相応しい教育のあり方を求めていく上で、たつのこ人づくり学習というところに結びついたのではないかと考えています。</p> <p>そういうことを考えていくと少子化の中で、新型コロナウイルスという影響もありましたが、我々が考えられないような教育分野での影響が、今後色々出てくると思いますので、そういうのにしっかりと対応できる学校づくりをしていくことが、これから求められていると思いますので、斎藤委員からありましたが、しっかりと見極めていく力も求められていくと思います。</p> <p>先の読めないところも、当然あるとは思いますが、その中で、どういう道筋を選択していくのが、我々に課せられた課題で、この総合教育会議で色々議論を深めていけばいいと考えていますので、引き続き皆さんのお知恵をいただければと思います。</p> <p>他にございますか。</p> <p>(なし)</p>

<p>中山市長</p>	<p>それではその他に移りたいと思います。 新型コロナウイルスの対応について、今日はあまりお話できませんでした が、これについて何か皆さんからありますか。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>6月8日から学校が再開しまして、現在、教育委員会にそれに関して要求や 苦情はほとんどない状況です。心配された1年生も2カ月遅れの入学、登校で すが、本当に元気です。逆に気付いた点は、これまでは小学校6年生が手厚 く、子ども達の手を引いて、上げ膳据え膳で給食を食べさせていましたが、今 年は密になるのでそういうことをやめて先生がやる、子ども達にできることは 子ども達にさせましようとなったところ、意外と小学校1年生の子ども達がす んなりできるようになっていました。これは幼稚園、保育所の先生に言わせ ると、そういうことをできるように育ててきたから、小学校でもやらせなさい ということでした。ところが、小学校の先生はまだ1年生だからということで、 そこの小1ギャップ、小1プロブレムではありませんが、大人が勝手に問題視 している部分があると、今回の学校再開で感じたところでした。今年度の夏休 みは短くして、給食を食べながら勉強してもらおうということですが、不安も本 当に多いと思いますので、その不安について教育委員会は学校に寄り添いな がら、子ども達がこんな状況の中でも元気に学校に通える気持ちを持つよう な学校教育でありたいと思っています。</p> <p>しかし、今、一番困っているのは、新しい生活様式です。これは今まで教育 現場でやってきたことが8割方否定されています。ペアになって勉強しまし ょう、グループになってお互い声を出してやっていきましょう、タブレットも 5人1台でやりましょう、全て密になってしまいます。また、これからの学校 行事はどうするのか。運動会を土日に行うと保護者が来て、密の状態です。 接触もあります。それも駄目だとすると子ども達の楽しみをどこに見出す のか、今はほとんど見えない状況です。中学校3年生の修学旅行もどうした らいいかということで、どこに行っても密になってしまいます。意外と密が楽 しいので、それすら取り上げられてしまうかわいそうな中学生もいます。そ して、そういう苦悩をしていることを一般市民の方、保護者の方にも理解し ていただかないとまずいと思いますので、その点については、適切に広報活 動していきたいと考えています。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今、教育長からお話がありましたが、皆さんから何かございますか。斎藤委 員。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>うちの孫が今年小学校1年生になりました。学校が非常に楽しくてしょう がないということでした。ただ、今後、夏休みの問題も含めて、気温も大分上 がってくるので心配しています。また、子どもが持っているランドセルを持 てみると、ものすごく重いんです。あの状態で夏は大丈夫なのかと思ってい ます。だから、そういう工夫も低学年の子どもは体力もないので何か対策し ていく必要があると思います。そういう問題も含めて、登下校の暑さ対策を どうしていくのか、十分学校と協議しながら、安全確保していただければ と思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>教育委員会の熱意や学校給食センターの皆さんの努力で給食を出して、午 後も授業をしていただけることになりました。食中毒等の問題があつて、業 者や栄養士さんとも最後の最後まで話し合ったようでした。今のお話にもあり まし</p>

たが、子ども達が心身ともに疲れてしまうので、どうやったらケアできるか。夏休みは2週間ありますけれども、例年と違うので、そういうところもどのようにケアしていけばよいのか、私も子どもが学校に通っているの、その辺は何ができるかと考えているところです。

新型コロナウイルスの問題があり、大人でもオンラインや在宅等ができるようになりました。我々地方都市として期待しているのは、一極集中の意味がないので戻ってきて、学校に子ども達が増えてくれたら嬉しいと思っています。

ただ、オンラインが本当に良いのか、先ほど教育長がおっしゃったように密の大切さがあります。行政はいかに市民に寄り添えるかを問われているのに、寄り添うことが許されません。だから、今までやってきたことが否定されているというお話がありましたけど、行政もそういう思いを強めているところです。

その中で収束するまで、もしかしたら長引く可能性、オリンピックができない可能性もあります。そうなった時に、いかに寄り添えるかは普遍的な課題で、それをどう実現していくかは、難しいことかと思いつつも、新しいあり方を考えていかなければならないと思います。

職員採用の面接官は、プロの面接官をお願いしていますが、この間お話しした時、企業の面接もオンラインでやっていると言っていました。その面接官にどうでしたかと聞くと、全然駄目、何もわからない。画面から声だけ聞こえてくるだけではわからないし、画像等は修正することもできますので、全然駄目と言っていました。

余計な話をしてしまいましたが、委員の皆さんからお気づきのこと、感じたこと、そろそろ時間でございますが、何かあればお願いいたします。

平塚教育長

4月にスタートしたたつのこ人づくり学習、いわゆる人との関わりの中で生きる力、激動の社会を生き抜ける龍ヶ崎の子どもたちを育てましょう、そして地域に貢献していきましょうとなっており、テーマが人との関わりになっています。ですから、そこを積極的にやりましょうと言っているところを密と言われてしまっています。これから子ども達には感染防止等、新型コロナウイルスから学んだことは、学習として、スキルとして身につけさせることは大事だと思いますが、その中である種の決断を教育委員会はしていくしかない。そうじゃないと教育が成り立たない。やはりバランスが大事だと思います。オンラインで、人格が育つか、育つ部分もあると思いますが、育たない部分もあります。人と面して相手の息遣い、呼吸、表情、汗を見ながら対応を考えていくという人付き合いも学習の一つかなと思います。この点について、たつのこ人づくり学習は諦めることなく、これからも進めていきたいと思っておりますので、その節は御協力よろしく申し上げます。

中山市長

ありがとうございます。力強いお言葉をいただきました。

自分が小学生の時のことを考えたら、おそらくオンラインではすべては学べないと思います。今、おっしゃられたとおりだと思います。この総合教育会議を通しながら、皆さんからも、今のお話を実現していくためのお力をいただければと思います。よろしく申し上げます。

それでは、皆様には慎重審議、貴重な御意見、御提案をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。本日、いただいた御意見を踏まえて、今後所定の手続きを経て、報告書及び計画書を公表して参りたいと考えております。よろしく申し上げます。

それでは、これをもって私の議事進行の役目を解かせていただきます。皆様

事務局	<p>の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>大変お疲れ様でございました。以上をもちまして本日の会議を閉会とさせていただきます。</p>
------------	--